

# 新副町長に菅原秀史氏が就任

副町長を4年務められた栗中一弘氏が任期満了により退任され、5月17日の臨時議会において新副町長に前総務財政課長の菅原秀史氏が選任されました。

## 略歴

- 昭和58年 沼田町役場奉職
- 平成24年 商工観光課長
- 26年 保健福祉課長
- 27年 総務財政課長



すがわら しゅうじ  
菅原 秀史 (55)

## 地域の安全・安心のため

### 沼田町防犯協会・夜高パトロール隊定期総会

5/10

沼田町防犯協会沼田支部・沼田町夜高パトロール隊の定期総会が町民会館で開催されました。

堀田輝幸支部長は、「町民の安全のため、より一層意識を高め、深川警察署沼田警察庁舎、沼田町自治振興協議会、沼田町交通安全協会とも連携し、地域の安全を守っていきたい。」と挨拶がありました。

沼田町防犯協会沼田支部と沼田町夜高パトロール隊は、今後も地域の安全・安心を守るため、防犯・交通安全街頭啓発パトロール等の活動を行います。



## みんなでキレイな町に

### クリーン沼田空き缶拾い

5/12

町内一円において、町・自治振興協議会・社会福祉協議会共催のクリーン沼田空き缶等回収一斉運動が行われました。

開会式では、横山町長から「町民一人ひとりの力を合わせ、きれいで美しいまちづくりを行っていきましょう。」と挨拶がありました。

気温も低く肌寒さを感じる中での作業となりましたが参加者は各地域に分かれて、たくさんの空き缶やゴミを拾いました。



1株1株大切に

## 小学生が田植学習

5/20

沼田小学校（疋田博和校長）の5年生22名が昔ながらに手で植える田植え農業体験を行いました。

天候にも恵まれた中、児童はJA北いぶき職員から植え方の説明を受け、スノークールライスファクトリー南側の水田に「ななつぼし」の苗を1株1株丁寧に植えていました。水田の中での歩き方や苗の扱い方など、児童同士で相談し合い、農業のおもしろさ、大変さを感じていました。

今後は苗の生育状況の観察や収穫作業を体験し、刈り取り後のお米は児童にプレゼントされる予定です。



元気いっぱいに走って笑って

## 沼田学園運動会の開催

5/25

沼田学園（疋田博和学園長）の運動会が、「力戦奮闘～新たな時代を駆けぬけろ！～」をテーマに、小学校グラウンドで開催されました。

児童・生徒は徒競走やリレーなど、日頃の練習の成果を存分に発揮していました。また、合同競技では恒例となった「デカパンリレー」や「とんとんトンネル」など、仲良く息のあった競技を行いました。



▲小学生全員での「玉入れ」



▲中2による「あずきリレー大好き」



▲中3「まっしろ白すけ出ておいで！」



▲合同競技の「とんとんトンネル」



## ごみ拾いボランティア

5月24日（金）旭川市に本社を置く株式会社アサヒ建設コンサルタント（竹林恭介代表取締役）が町内でごみ拾いボランティアを行いました。

同社は地域貢献活動の一環として、各地でボランティアを行っています。

この日はほろしん温泉へと続く道道867号線を隅々まで綺麗にさせていただきました。



## 医師住宅 完成

昨年4月に地方創生に向け、相互に協力しそれぞれの資源を有効に活用した事業の推進を図るため、「地方創生包括連携協定」を締結した株式会社カネカ（角倉 護代表取締役社長：東京本社）の協力のもと建設していました医師住宅が完成しました。この住宅は、外断熱・二重通気工法の「ソーラーサーキットの家」、さらに太陽光発電設備等を備え、人と地球に優しい住宅となっています。

5月23日（木）には株式会社カネカの菅原会長が訪れ、完成した住宅の出来を肌で感じていました。

また、5月25日（土）に内覧会が開催され、訪れた方々は一年中快適で、地球環境も考えられた住宅に興味深く観覧していました。



## 雪氷桜プロジェクト

「北海道雪氷桜プロジェクト実行委員会（越智文雄実行委員長）」では、雪氷の冷気で桜の開花を遅らせ、2020年の東京五輪・パラリンピック期間中に開花させるため、4月4日、道内31市町村から送られた枝を雪の科学館に運び入れました。

同実行委員会では、このあと8月に常温に戻し、開花実験のうえ、東京五輪・パラリンピックでの「おもてなし」に向けて取り組む予定です。

